

賃上げ「実施した・予定」56.4%

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「原材料価格の上昇」の136社。2位が「需要の停滞」の127社。「従業員の不足」が62社で3位。
- ★ 「令和6年に入ってから賃上げ実施」について、「上げた」とした事業所が47社。「これから上げる」97社を含め、144社が賃上げの方向。105社は「現状維持」と回答。
- ★ 「物流業界の2024年問題に伴う業務への影響」について、6割弱の58.4%（149社）が「影響がある」と回答。現時点で「分からない」と回答した割合が29.8%（76社）に対し、「影響はない」との回答はわずか10.2%（26社）。

令和6年 1 3 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

令和6年3月に実施した第136回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。
本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が136回目。
市内の500事業所を抽出し、集計企業数は262社（小売業75社、卸売業31社、製造業32社、建設業59社、運輸・交通業17社、観光・サービス業48社）で回収率は52.4%。

【概況】

今期（1～3月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲17.9と、3ヶ月前の前回調査から13.6ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が2.7%、「やや好転」が16.0%で、逆に「やや悪化」が29.0%、「かなり悪化」が7.6%だった。売上DIは▲3.1から11.4ポイント悪化し▲14.5。採算DIも8.3ポイント悪化し▲27.2。原材料（商品）仕入価格は65.8と前期より若干低下したものの依然として高値で推移。

今回事業所に対し、「賃上げの実施」について尋ねたところ、今年に入り「上げた」18.4%（47社）と「これから上げる」38.0%（97社）を合わせ、半数強の56.4%（144社）が賃上げを実施。人材確保や従業員の待遇改善のため賃上げは避けられないが、エネルギー価格や原材料費等の高騰が続く中、十分な価格転嫁が難しい中小・小規模事業者では、大手企業のような高水準での賃上げは進んでいない。41.2%（105社）は「現状維持」。着実な賃上げには原資の確保が不可欠で、そのためには、労務費、エネルギーコスト等の上昇分を中小・小規模事業者が適切に価格転換出来る環境作りが欠かせない。

また、物流業界の「2024年問題」が事業活動に影響を与えるかどうかについて、約6割（58.4%）が「ある」と回答。「ない」と回答したのはわずか10.2%で、現時点で「分からない」との回答も29.8%あり、幅広い業界への影響も懸念される。

賃上げ原資の確保、価格転嫁の実現、2024年問題への対応など中小・小規模事業者が抱える課題は多く、依然として厳しい経営環境に置かれていることが浮き彫りになった。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI (好転割合) — (悪化割合)

売上DI (増加割合) — (減少割合)

採算DI (好転割合) — (悪化割合)

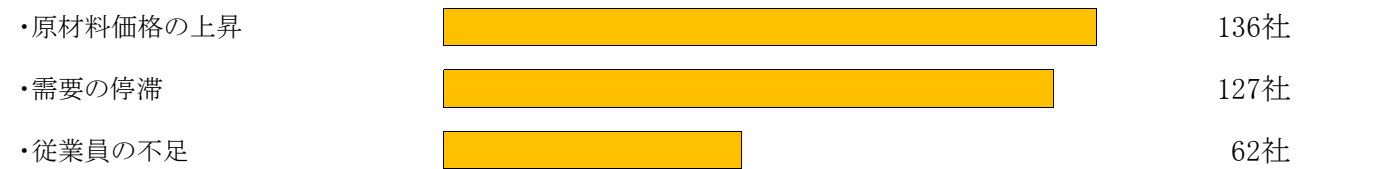
業況は、全業種合計で今期▲17.9。業種別に見ても改善した業種はなく、全ての業種で悪化した。特にマイナス幅が大きいのは、卸売業（▲25.8）と製造業（▲37.5）の2業種。

売上は、全業種合計で今期▲14.5。業種別では、小売業を除く5業種で悪化。業況同様、卸売業（▲25.8）と製造業（▲28.1）の2業種が特に厳しい。主な原因は「季節的な減少」もあるが「取引先の悪化・減少」や「景気の低迷（後退）」など。

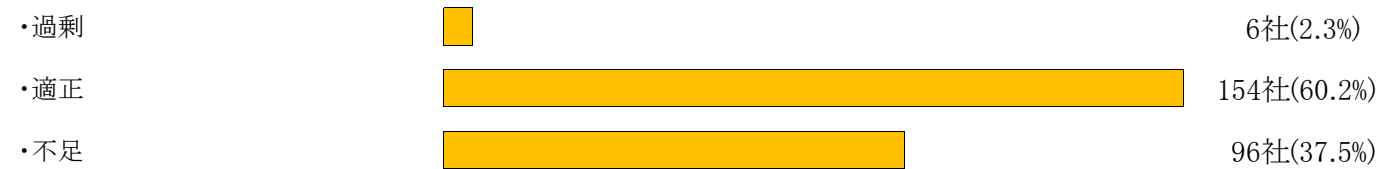
原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期65.8。前期と比べると若干下がっているが、高止まり感は拭えない。

採算は、全業種合計で今期▲27.2。業種別では、小売業と運輸・交通業を除く4業種で悪化。売上が減少すれば採算も悪化するのとは当然ながら、「売上原価（仕入・原材料費）の上昇」により採算が悪化しており、価格転嫁が十分に進んでいない現状が読み取れる。

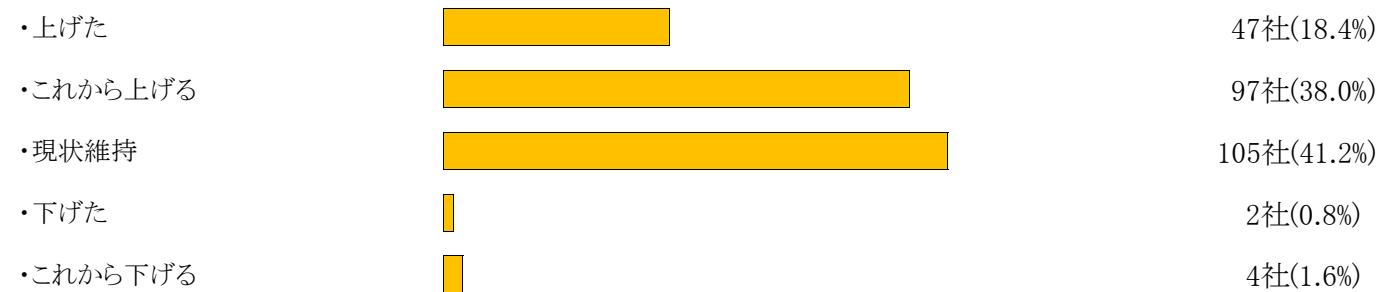
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



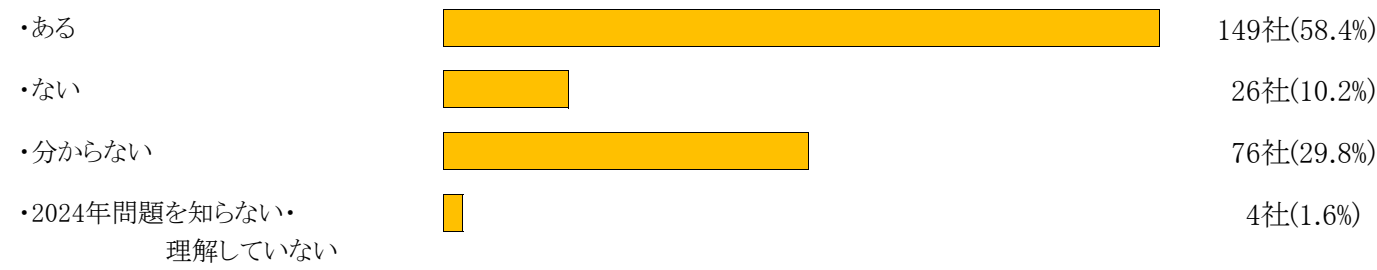
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【今年に入り、賃上げを実施されましたか？】



【物流業界の「2024年問題」は、貴社の業務に影響があると思われますか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】		
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 17.9	▲ 23.3
小売業	▲ 14.7	▲ 28.0
卸売業	▲ 25.8	▲ 12.9
製造業	▲ 37.5	▲ 37.5
建設業	▲ 16.9	▲ 37.3
運輸・交通	▲ 5.9	▲ 11.8
サービス業	▲ 10.4	0.0

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】		
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 14.5	▲ 21.8
小売業	▲ 16.0	▲ 29.3
卸売業	▲ 25.8	▲ 9.7
製造業	▲ 28.1	▲ 34.4
建設業	▲ 10.2	▲ 37.3
運輸・交通	0.0	▲ 5.9
サービス業	▲ 6.3	4.2

(増加割合－減少割合)

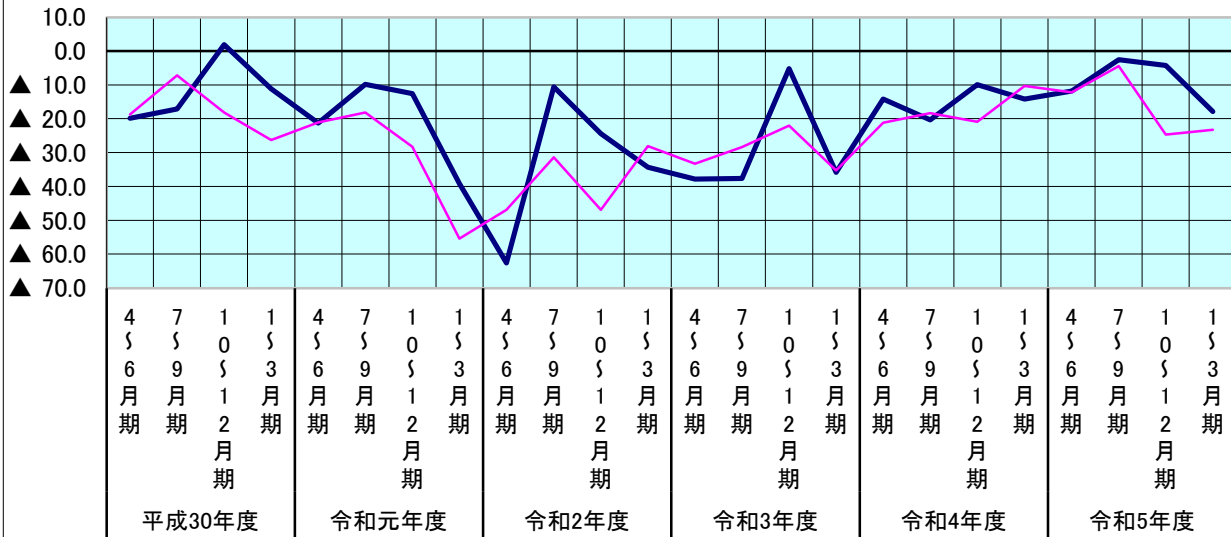
【採算(営業利益)DI】		
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 27.2	▲ 37.4
小売業	▲ 20.0	▲ 41.3
卸売業	▲ 26.7	▲ 25.8
製造業	▲ 46.9	▲ 34.4
建設業	▲ 27.1	▲ 49.2
運輸・交通	▲ 5.9	▲ 41.2
サービス業	▲ 33.3	▲ 25.0

(好転割合－悪化割合)

全業種

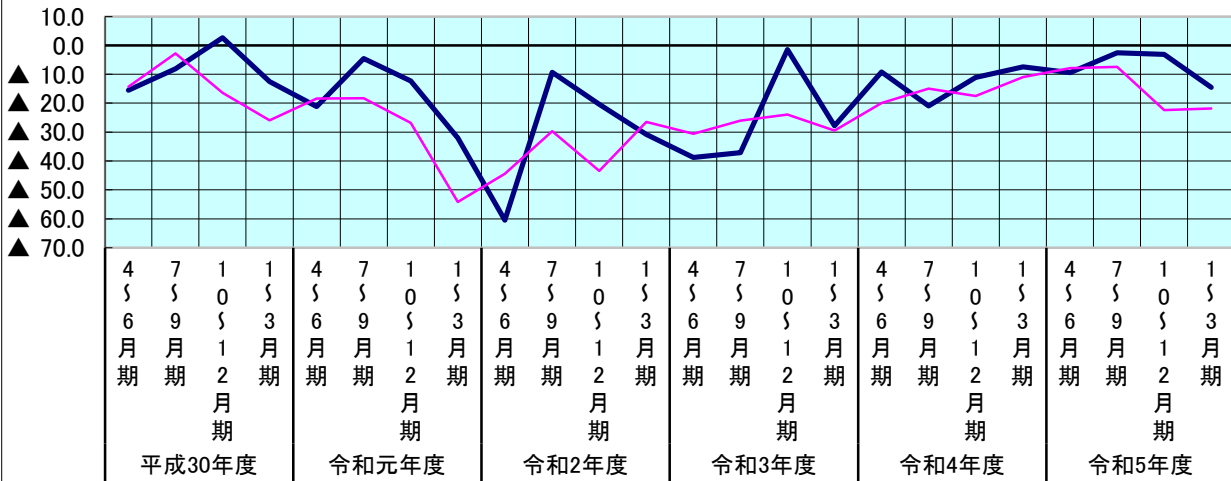
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



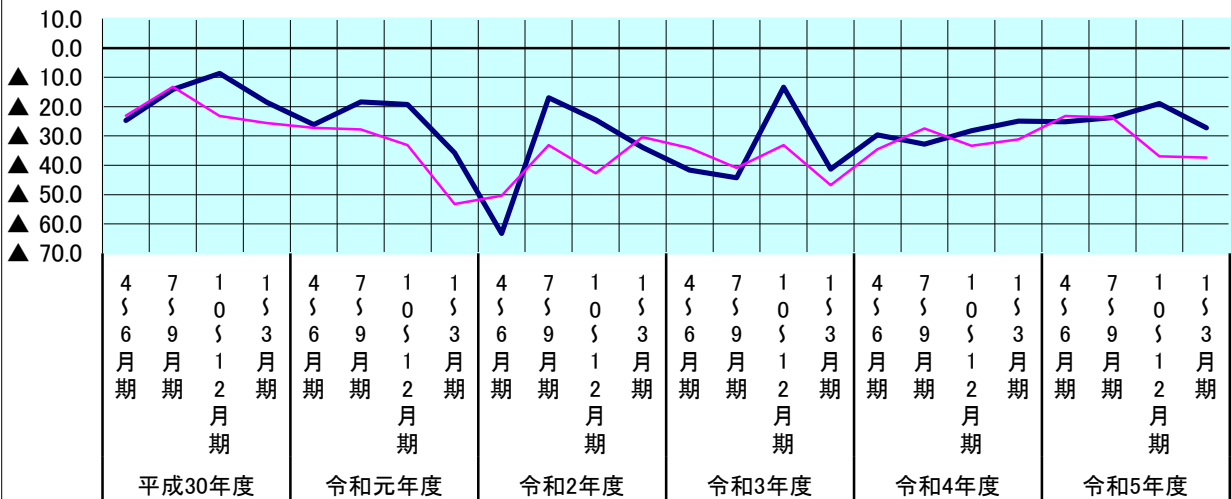
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 ～ 6 月 見 通 し			
卸 売 業	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 ～ 6 月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 ～ 6 月 見 通 し			
建 設 業	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 ～ 6 月 見 通 し			
運輸・交通業	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 ～ 6 月 見 通 し			
観 光 サービス業	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 ～ 6 月 見 通 し			

景 気 天 気 図 の 説 明








大変良い 良い まあまあ 少し悪い 悪い 大変悪い